



アクセス要求内の RADIUS 属性 8 Framed-IP-Address

アクセス要求内の RADIUS 属性 8 (Framed-IP-Address) 機能は、ネットワーク アクセス サーバ (NAS) から RADIUS サーバに、ユーザ認証に先立って、ユーザ IP アドレスのヒントを提供できるようにします。RADIUS サーバ上で動作するアプリケーションは、このヒントを使用して、ユーザ名とアドレスのテーブル (マップ) を作成できます。マッピング情報を使用して、サービスアプリケーションは、正常なユーザ認証に使用するユーザのログイン情報の準備を開始できます。

- [アクセス要求内の RADIUS 属性 8 Framed-IP-Address の前提条件 \(1 ページ\)](#)
- [アクセス要求内の RADIUS 属性 8 Framed-IP-Address に関する情報 \(2 ページ\)](#)
- [アクセス要求内の RADIUS 属性 8 Framed-IP-Address の設定方法 \(3 ページ\)](#)
- [アクセス要求内の RADIUS 属性 8 Framed-IP-Address の設定例 \(4 ページ\)](#)
- [その他の参考資料 \(5 ページ\)](#)
- [アクセス要求内の RADIUS 属性 8 Framed-IP-Address の機能情報 \(6 ページ\)](#)

アクセス要求内の RADIUS 属性 8 Framed-IP-Address の前提条件

RADIUS アクセス要求内で RADIUS 属性 8 を送信する場合は、NAS サーバから IP アドレスを要求するようにログインホストを設定しておく必要があります。また、NAS からの IP アドレスを受け入れるようにログインホストを設定しておく必要もあります。

NAS は、ログインホストをサポートしているインターフェイス上のネットワークアドレスのプールを使用して設定する必要があります。

アクセス要求内の RADIUS 属性 8 Framed-IP-Address に関する情報

この機能の動作内容

ネットワーク デバイスが RADIUS 認証用に設定された NAS にダイヤルインすると、NAS がユーザ認証に備えて、RADIUS サーバとの通信プロセスを開始します。通常は、ユーザ認証が成功するまで、ダイヤルインホストの IP アドレスが RADIUS サーバに通知されません。RADIUS アクセス要求内でサーバにデバイス IP アドレスを通知すれば、他のアプリケーションがその情報を利用できるようになります。

NAS が RADIUS サーバと通信するようにセットアップされている場合は、NAS が特定のインターフェイス上で設定された IP アドレスのプールからダイヤルインホストに IP アドレスを割り当てます。NAS は、ダイヤルインホストの IP アドレスを属性 8 として RADIUS サーバに送信します。そのとき、NAS は、ユーザ名などの他のユーザ情報も RADIUS サーバに送信します。

RADIUS が NAS からユーザ情報を受信した場合は、次の 2 つの選択肢があります。

- RADIUS サーバ上のユーザプロファイルにすでに属性 8 が含まれていた場合は、RADIUS が NAS から受け取った IP アドレスをユーザプロファイル内で属性 8 として定義された IP アドレスに置き換えます。ユーザプロファイル内で定義されたアドレスが NAS に返されます。
- ユーザプロファイルに属性 8 が含まれていない場合は、RADIUS サーバが、NAS からの属性 8 を受け入れて、そのアドレスを NAS に返すことができます。

RADIUS サーバから返されたアドレスは、セッションが終わるまで、NAS 上のメモリに保存されます。NAS が RADIUS アカウンティング用に設定されている場合は、RADIUS サーバに送信されるアカウンティング開始パケットに属性 8 内のものと同じ IP アドレスが含まれています。以降のすべてのアカウンティングパケット、更新（設定されている場合）、および終了パケットにも、属性 8 で指定されたものと同じ IP アドレスが含まれています。

ただし、RADIUS 属性 8 (Framed-IP-Address) は、次の 2 つの状況ではアカウンティング開始パケットに含まれません。

- ユーザがデュアルスタック (IPv4 または IPv6) サブスクリバである場合。
- IP アドレスがローカルプールからであり、RADIUS サーバからではない場合。

これらの状況では、`aaa accounting delay-start extended-time delay-value` コマンドを使用し、設定した遅延値でインターネットプロトコル制御プロトコルバージョン 6 (IPCPv6) アドレスネゴシエーションを遅延させます。遅延している間は、IPCPv4 アドレスが使用され、フレーム化された IPv4 アドレスがアカウンティング開始パケットに追加されます。

利点

アクセス要求機能の RADIUS 属性 8 (Framed-IP-Address) を使用すると、ユーザと IP アドレスのマッピングテーブルを構築する RADIUS サーバで、アプリケーションを実行することができます。この機能により、サーバは、RADIUS サーバでの正常なユーザ認証の前に、カスタマイズしたユーザ ログイン ページの準備といった他のアプリケーションで、マッピング テーブルの情報を使用することができます。

アクセス要求内の RADIUS 属性 8 Framed-IP-Address の設定方法

アクセス要求での RADIUS 属性 8 の設定

アクセス要求内で RADIUS 属性 8 を送信するには、次の手順を実行します。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **radius-server attribute 8 include-in-access-req**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	radius-server attribute 8 include-in-access-req 例： Router(config)# radius-server attribute 8 include-in-access-req	access-request パケット内で RADIUS 属性 8 を送信します。

アクセス要求内の RADIUS 属性 8 の確認

RADIUS 属性 8 がアクセス要求内で送信されていることを確認するには、次の手順を実行します。属性 8 は、すべての PPP アクセス要求内に存在するはずですが。

手順の概要

1. `enable`
2. `more system:running-config`
3. `debug radius`

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	more system:running-config 例： Router# more system:running-config	現在実行されているコンフィギュレーションファイルの内容を表示します(コマンド more system:running-config が show running-config コマンドに置き換えられていることに注意してください)。
ステップ 3	debug radius 例： Router# debug radius	RADIUS 関連の情報を表示します。このコマンドの出力は、属性 8 がアクセス要求内で送信されているかどうかを示しています。

アクセス要求内の RADIUS 属性 8 Framed-IP-Address の設定例

ダイヤルインホストの IP アドレスを送信する NAS の設定例

次の例は、ダイヤルインホストの IP アドレスを RADIUS アクセス要求内で RADIUS サーバに送信する NAS 設定を示しています。NAS は、RADIUS 認証、許可、アカウントिंग (AAA) 用に設定されています。IP アドレスのプール (asyncl-pool) が設定され、インターフェイス virtual-template1 に適用されています。

```
aaa new-model
aaa authentication login default group radius
aaa authentication ppp default group radius
aaa authorization network default group radius
aaa accounting network default start-stop group radius
```

```

!
ip address-pool local
!
interface virtual-template1
 peer default ip address pool async1-pool
!
ip local pool async1-pool 209.165.200.225 209.165.200.229
!
radius-server host 172.31.71.146 auth-port 1645 acct-port 1646
radius-server retransmit 3
radius-server attribute 8 include-in-access-req
radius-server key radhost<xxx>: Example
    
```

その他の参考資料

次の項で、アクセス要求内の RADIUS 属性 8 (Framed-IP-Address) に関する参考資料を紹介します。

関連資料

関連項目	マニュアルタイトル
認証の設定および RADIUS の設定	『Cisco IOS XE Security Configuration Guide: Configuring User Services, Release 2』の「認証の設定」および「RADIUS の設定」の章。
セキュリティ コマンド	『Cisco IOS Security Command Reference』

標準

標準	タイトル
この機能でサポートされる新規の標準または変更された標準はありません。また、既存の標準のサポートは変更されていません。	--

MIB

MIB	MIB のリンク
この機能によってサポートされる新しい MIB または変更された MIB はありません。またこの機能による既存 MIB のサポートに変更はありません。	選択したプラットフォーム、Cisco IOS XE ソフトウェアリリース、およびフィチャセットの MIB の場所を検索しダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。 http://www.cisco.com/go/mibs

RFC

RFC	タイトル
RFC 2138	『Remote Authentication Dial In User Service (RADIUS)』

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
<p>シスコのサポート Web サイトでは、シスコの製品やテクノロジーに関するトラブルシューティングにお役立ていただけるように、マニュアルやツールをはじめとする豊富なオンライン リソースを提供しています。</p> <p>お使いの製品のセキュリティ情報や技術情報入手するために、Cisco Notification Service (Field Notice からアクセス)、Cisco Technical Services Newsletter、Really Simple Syndication (RSS) フィードなどの各種サービスに加入できます。</p> <p>シスコのサポート Web サイトのツールにアクセスする際は、Cisco.com のユーザ ID およびパスワードが必要です。</p>	http://www.cisco.com/en/US/support/index.html

アクセス要求内の RADIUS 属性 8 Framed-IP-Address の機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りが無い限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 1: アクセス要求内の RADIUS 属性 8 (Framed-IP-Address) の機能情報

機能名	リリース	機能情報
アクセス要求内の RADIUS 属性 8 (Framed-IP-Address) (スティッキー IP とも呼ばれます)	Cisco IOS XE Release 2.1	アクセス要求内の RADIUS 属性 8 (Framed-IP-Address) 機能は、ネットワーク アクセス サーバ (NAS) から RADIUS サーバに、ユーザ 認証に先立って、ユーザ IP アドレスのヒントを提供できるようにします。 Cisco IOS XE Release 2.1 では、Cisco ASR 1000 シリーズ Aggregation Services Router にこの機能が実装されました。 次のコマンドが導入または変更されました。 radius-server attribute 8 include-in-access-req.

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。